

国立大学法人福島大学 学長選考基準

令和7年8月5日
国立大学法人福島大学
学長選考・監察会議

昨今の急速な少子化や国内外の急激な社会状況の変化の中で、福島大学が抱える様々な課題を克服し、多様性を尊重したサステイナブルな大学として導ける、強いリーダーシップを持った学長を選考するため、国立大学法人福島大学の学長選考基準を以下のとおり定める。

(1) 学長の資質

人格が高潔で、学識が優れ、広い国際性と将来の福島大学が目指すべき明確なビジョンを持ち、これを実現するための強いリーダーシップと責任感、構成員のみならず学外のステークホルダーとのコミュニケーション能力を有すること。

(2) 教育

正解のない問いにチャレンジできるイノベーション人材を育成するための教育と教育環境を整備し、若者をはじめ多くの人々を惹きつけ、地域が求める人材を輩出できる大学とすること。

(3) 研究

研究機能の強化を図り、福島大学における新たな「強み」を創出し、世界に通用する研究を促進するためのビジョンを示すとともに実現させる能力を有すること。

(4) 地域社会との連携

福島県唯一の国立大学として、果たすべき地域貢献の在り方を明確にし、将来のあるべき地域の姿や課題解決に向けた提言を行い、地域ニーズに応えることができる大学とすること。

(5) 大学運営

現在進行中の学士課程改革を着実に実行させるとともに、大学における教育研究活動を適切かつ効果的に運営し発展させ、そのための安定的な財政基盤を構築することができる能力を有すること。